

チェックリスト

1 共謀罪は、話し合いを犯罪化する法律ですが、あなたやあなたが属する団体、グループなどで、何らかの共謀罪対策をとってききましたか。

(1) すでに対策をとっている(対策に着手しているが完了していない場合も)

(2) 対策を話し合っている(以下の質問3へ)

(3) まだ何の対策もとっていない(以下の質問4へ)

2 上記で(1)と回答された方に、質問します。

(1) どのような対策をとりましたか。

(2) 対策で苦慮していることはありますか。

3 上記で(2)と回答された方に質問します。

(1) どのような話し合いをしていますか。

(2) 対策を実施に移すのはいつごろになりそうですか。

4 上記で(3)と回答された方に質問します。

(1) 対策をとっていない理由は何ですか。

(2) 「市民団体、組合、会社などの団体のメンバーが一度共謀したと判断されればその団体は組織的犯罪集団とされます」という主張についてどのように考えますか。

4 インターネット上のコミュニケーションは「話し合い」の主要な手段になっています。この点について、以下質問します。

(1) インターネットのウェブ機能を使ってホームページにアクセスすることで、あなたの個人情報がどのくらい相手に把握されるかについて、あなたの現在の考え方は以下のどれに近いですか。

- ・ 個人情報が相手に把握されることはほとんど気にしていない。
- ・ 個人情報が相手に把握されることは気になっているが対処していない(対処の方法がわからない)
- ・ 個人情報が相手に把握されないように工夫している。

(2) 電子メールのセキュリティについて、どのような対処をしていますか。

- ・パスワードを入力するのでセキュリティは大丈夫だと思う。
- ・そもそも電子メールのセキュリティとは何のことかわからない。
- ・必要に応じてメールの暗号化をしている。

(3) あなたが契約しているプロバイダーのプライバシーポリシーを読んだことがありますか。

- ・ ある
- ・ ない

(4) 上で「ある」と答えた方に質問します。あなたの契約しているプロバイダーは、裁判所の令状なしでも、プロバイダーの裁量で、あなたの個人情報などを捜査機関に提供することになっていますか。

- ・ はい
- ・ いいえ。令状なしでは提出しないことになっている。

5 共謀罪に対抗して私たちの人権を防衛するための具体的なノウハウを実践するセミナーなど、具体的な技術的な対処の方法を知るための機会を持ちたいとお考えですか。

(1) そのような機会を持ってほしい

(2) セミナーなどは必要ではないが、メールでの相談などができる環境はほしい

(3) 自分(たち)で対処できるので特に必要性は感じない